

まぼろへのかけはし

基本理念 希望のある医療

防災訓練活動報告について

防災訓練チーム

高砂市民病院では、毎年防災訓練委員会が企画立案し防災訓練を行っています。

災害時には、①患者さまはじめ、在院者の生命を守ること
②病院としての役割を果たすことの二点が求められます。

これまでは、災害時に部署単位でどのように行動するのかを主に訓練していました。限られた人数で行動するには、対策本部の指示のもと各部署間の協力が必要となります。このことを踏まえて今年度は、対策本部・各部署の連携強化のための机上訓練、搬送訓練を実施しました。



<対策本部>

さらに、広域災害を想定して、「病院としての役割」を果たすため全職員を対象とした「トリアージの学習と教育」に取り組み、防災訓練委員には『災害時治療の優先順位について』のシミュレーション学習を実施しました。（トリアージとは、人と資源を最大限に活用するために治療の優先順位を決めることです。）

特に緊急時には、情報の集約化・共有により職員一丸となって臨機応変に対応することが重要です。院内 PHS 等の通信手段が地震などの広域災害時に使用できないことも想定し、『トランシーバー』を導入しています。しかし場所によって通じにくくなる問題があり、今後検討が必要となりました。

患者さまの生命を守る、すみやかな搬送が必要となることが想定され、職員全員が搬送できる必要があります。普段搬送にかかわらない職種の職員が車いす、ストレッチャーの使い方を学ぶ機会を作りました。

今後は、消防本部とも連携し、シナリオを作らず、状況設定だけで実地訓練し、行動面での問題点を抽出していきたいと考えています。まだまだ活動は始まったばかりですが、「訓練のための訓練」に終わらないように、今後も取り組んでいきたいと思っております。



<机上訓練>



<搬送訓練>

生活習慣病教室を実施しました



11月19日(水) 第2回生活習慣病教室を開催し25名の方が参加されました。

検査技師より「検査データの見方について」、放射線技師より「骨密度について」、理学療法士より「ロコモ(運動器症候群)チェックについて」の話がありました。それぞれの話により生活習慣を見直すヒントになったのではないのでしょうか。

教室の最後には、ロコモを回避できるワンポイント体操を教えて頂き、参加者全員で楽しみながら体を動かしました。

次回 2月18日(水) 13時から15時の教室は合併症予防とお薬についてのお話ですので、多くの方の参加をお待ちしております。

透析教室を実施しました

血液浄化センターでは、毎年透析教室を実施しています。今年は12月4日、5日に、患者さまのご希望により「検査について」と「フットケアについて」のお話をさせていただきました。講義だけではなく、ホットひと息できるクイズ大会も取り入れて、楽しんでいただけるように工夫し、笑顔いっぱいの透析教室でした。

ご参加ありがとうございました。

お知らせ

1. 医師異動のお知らせ

麻酔科 佐牟田 健医師が12月末で異動いたします。

2. 年末年始の休診のおしらせ

12月27日(土)から1月4日(日)の期間、休診いたします。

3. 1月のホットひと息寄り道講座

テーマ 「緩和ケア」 誤解していませんか?
～生きることを支えるケア～

講師 緩和ケア内科医師

日時 1月13日(火)、28日(水) 10:00~10:30

場所 正面玄関ホール 公衆電話前

<玄関フロアのツリー>



きぼうへのかけはし

に関するお問合せは、

地域医療連携室までお願いします。

連絡先 〒676-8585 兵庫県高砂市荒井町紙町33番1号

TEL 079-442-3981(内線5146)

FAX 079-443-1401

ホームページ <http://www.hospital-takasago.jp/>